



芸術創造センター催物ご案内 2022.8月

[2022年7月1日現在]

開催日	催し物名	開催時間	問い合わせ先	入場料
6 (土)	NAGOYA GROOVIN' SUMMER 2022 チケット取扱	13:00～14:30 17:30～19:00	(公財)名古屋市文化振興事業団	500 円
7 (日)		13:00～14:30 17:30～19:00	052-249-9387	(全自由席)
9 (火)	‘22 仁科伶子バレエ団定期公演	18:30～19:45	仁科伶子バレエ団	1,000 円 (全自由席)
10 (水)	Ballet intime 第8回発表会	17:30～19:30	バレエアンティム 052-981-7107	無料 要整理券 (全自由席)
17 (水)	第32回全国バレエコンクール in Nagoya	12:00～18:00	CJB 中部日本バレエ団 052-481-5017	当日券
18 (木)		10:00～17:00		予選 3,000 円
19 (金)		10:00～18:00		決選 5,000 円
20 (土)		10:00～17:00		(全自由席)
21 (日)	7th メモリアルコンサート in Nikkyo	13:00～14:30 15:45～17:15	日響楽器株式会社 052-751-6161	500 円 関係者のみ (全自由席)
23 (火)	ひいてみよう スタインウェイ	10:00～	名古屋市芸術創造センター 052-931-1811	試弾料 3,000 円 ※要予約
27 (土)	俳優館 夏休みファミリー劇場 2022 ミュージカル「あらしのよるに」NEW ver.	19:00～20:30	総合劇集団 俳優館 052-203-8721	前売 指定席一般 4,000 円 高校生以下 3,500 円 自由席一般 3,500 円 高校生以下 3,000 円 当日 500 円増
28 (日)		11:00～12:30 15:00～16:30		
31 (水)	6th TOHO FAMILY DANCE PERFORMANCE	18:00～20:00	東邦高等学校ダンス部 (顧問・伊藤)052-782-1171	前売のみ 1,000 円 (全指定席)

チケット取扱

…名古屋市芸術創造センター劇場事務室にてチケット取扱い

☆催物は予告なく変更・中止となる場合がありますのでご了承ください。最新の情報は各主催者へお問い合わせください。
なお、主催者の都合により問い合わせ先等を掲載しない場合があります。

☆芸術創造センターの催し物案内やホール・リハーサル室・練習室・会議室等の空き状況はホームページでご覧いただけます。

カシワ電気株式会社
〒461-0005
名古屋市東区東桜二丁目3番22号
TEL 052-931-1811 FAX 052-931-7145

いけす 漁場
芸術創造センター 南150m
ランチございます。
昼飲み大歓迎!

バリバリ鶏&ワイン&フルーツのお店
OPEN 11:30～14:00 (月～金)
18:00～MID (月～土)
定休日 日曜日
ランチ 790円～
TEL 052-935-7733

IN (公財) 名古屋市文化振興事業団 [芸術創造センター]
〒461-0004 名古屋市東区葵一丁目3番27号
TEL 052-931-1811 FAX 052-931-7145
地下鉄東山線「新栄町」駅 1番出口より 北へ徒歩3分
地下鉄桜通線「高岳」駅 3番出口より 東へ徒歩5分



IN 「友の会」 会員募集中!
<http://www.bunka758.or.jp/>

芸術創造センター

トキメキ通信

2022
8月号

～芸術文化の創造拠点!あなたにトキメキを～

ノーマン・ロックウェル展
2022年8月5日(金) ▶11月6日(日)
開催時間: 10:00～17:00(最終入館16:30)
休館日: 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)
夏期休館日(8月13・14・15日)
場所: 芸術センター北側
トキメキ通信持参で100円引
地下鉄東山線 新栄町駅①出口より徒歩5分
電話: 052-931-0006
横山美術館
Yokoyama Art Museum

<http://www.amano-std.co.jp/>

Topic

- ・山田純平
プレミアムコンサート2022
- ・芸術アドバイザーの紹介

Topic

山田純平 プレミアムコンサート 2022

大切にしたい「和」のこころ
和風の「和」も
調和の「和」も
どこが微妙に違う「和」のこころ

尊敬するミュージシャンの方々と
互いの強みを認め合い
異なる音の理解を深め
プライドをぶつけ合う

その先に 至高の美しい世界を見出したい
未来への希望を感じさせてくれる
景色があるはずだから

大いなる和の未来に

〈山田純平 PremiumConcert2022 ACCORD～大いなる和の未来に～〉
9月17日（土）・18日（日）の2日間にわたる和太鼓公演です。

オリジナルメンバーに加え、ゲストにアコーディオンの第一人者coba氏を迎えて、この公演限りのコラボレーションが披露されます。芸創でしか見られない舞台演出もありますのでぜひお楽しみください！
現在チケットが販売されていますので、芸創センターまたは名古屋市文化振興事業団が管理する各文化施設、チケットガイドにてお買い求めください。

※前売り券が完売した場合、当日券の販売はございません。

チケット料金（全席指定）：【前売り】S席 ¥6,500 / A席 ¥5,500 / B席 ¥4,500 【当日券】各¥500増
【学生割引（高校生以下）】¥1,500キャッシュバック ※未就学児の入場はご遠慮ください。

和太鼓公演で思い出したことについて一言。知り合いに某太鼓リズムゲームの全国大会ファイナリストの方がいます。昔「マイバチ」（本人専用の太鼓を叩くばちのこと）について聞いたことがあり、「ホームセンターで購入した木材からばちを製作し、やすりで形を整え叩きやすいようにする」と話していました。ゲームに限らず、実際に和太鼓を叩くばちには多様な種類があり、ばちによっても音色や性能が違うそうです。公演当日に大きな和太鼓だけでなく、ばちにも注目してみるとより演奏を楽しむかもしれません（小さすぎて見えないかも…）。

編集者の小休止

「芝居がかった回」職員メモ（職員T）

私は芝居が好きです。芝居を観続けてはや20年、いろいろと、印象深い時がありました。最初の方に観たのが、当時は愛知県にも来ていた唐十郎の赤テント。ここで「まる3時間座る場所なし」という厳しい時を過ごし、芝居とはこういうものなんだと痛感しました。いや本当に足が痛かったから。その後、名高い七ツ寺共同スタジオに足を踏み入れてみた時には、座る場所があるとは、なんぞでいたく場所だ…と感動したものです。他には東日本大震災から3ヶ月後、1時間ごと余震を感じ、福島の県内で観た『わが星』東北公演、京都で8時間半をかけて観た、杉原邦生演出『エンジェルス・イン・アメリカ』（杉原さんは今ではNINAGAWA MEMORIALの演出家）、出るといってもわからない当日券を求め、前の晩から野外で並んだ劇団「維新派」の最終公演など、濃い思い出は尽きません。

しかし、昔の事ばかり覚えていても仕方ありません、せっかく新型コロナウイルスの影響から回復し、客席に人が戻り始めているのですから、新しい人たちの活動に目を向けて、知識をアップデートしなくてはなりません。

そんなわけで最近では、令和のアングラ劇「体現帝国」、若い俊英「優しい劇団」、名前だけでも掴み十分な「破天荒あかちゃん神の名をつぐやく」に注目しています。※紙数の都合で、芸創創造センターをご利用いただいている団体を優先しました。ご利用いただけたら、次回にご紹介するかも知れません。

来月号の案内（予定）

公演のご案内 〈A TEAM BIG BAND
『LIVE IS THE BEST』〉

〈人形浄瑠璃 文楽〉

他



文代のみち二葉館 【名古屋市旧川上貞奴邸】

休館日：月曜日
（祝日の場合はその翌日）
開館時間：10時～17時

FRIEND SHOP

公益財団法人
横山美術館

休館日：月曜日
（祝日の場合はその翌日）
開館時間：10時～17時



芸術アドバイザーのご紹介

Topic

芸創センターでは、芸術文化に関する相談や質問を受け付けています。

各分野で活躍する専門家のアドバイスを無料で聞くことができますのでぜひご利用ください。



佃 典彦
（演劇）

お芝居についての悩み等ありましたら一緒に考えたいと思います。僕も日々、悩んでおります。



大寺 資二
（舞踊）

バレエに関するご質問でしたらお気軽にお問合わせください。



逆瀬川 浩
（舞台技術）

舞台製作・舞台装置・舞台操作などについてお気軽にお尋ねください。



梶田 美香
（アートマネジメント）

コンサートの企画制作、アウトリーチやワークショップについて何でもお気軽にご相談ください。



やまもと かよ
（音楽）

クラシックとミュージカル歌唱の違い、声域の広げ方、呼吸法、舞台言語、など発声に関する質問をお気軽にご相談下さい！

《芸術アドバイザーによる相談窓口》

名古屋市文化振興事業団 公式ウェブサイトから

トップページ > 施設を利用する > 芸術創造センター > 芸術文化相談窓口

早川館長の今日この頃

「未来予想図」

今の若い世代の方々にはピンと来ないかもしれませんが、私が子どものころは『21世紀』という言葉は一種の夢のような時代を象徴したものでした。

図鑑や小学生用の教育雑誌などでは、『21世紀の予想図』と題したイラストが掲載されており、そこでは人類はみな若くて、宇宙服のような未来の素材でできた超機能的なスーツを着ており、バスや車が空を飛び、建物は全てピカピカした近未来的な建造物で、透明なチューブのようなトンネルが空中に浮かんでその中を未来の列車が走っているというものでした。

子ども心に「こんなカッコいい世の中で生きて行けるなんてなんと素晴らしいんだ！」と目を輝かせて眺めておりました。

ところが、実際にはどうでしょう。社会は高齢化が進み、道が広がったとか、大型ショッピングセンターができたとかといった地域の変化はありますが、空飛ぶ車も宇宙服を着た人も見ることはありません。大体、私の実家ですら40年以上そのまま、地味にお風呂がリニューアルした程度です。それに加えて、むしろ世界全体が良くない方向に向かっていくような気がして、子どものころに見た輝かしい未来予想図は一体何だったのだろうか考える今日この頃です。

今月のうた

〈短歌〉

凱風と 青葉のなかで 街を見る

岩崎城と いまでも私

幻桃短歌会

近藤 貴久子

日進市へ出掛けた帰り道、
思いついて岩崎城へ登ってみた。

山上からは日進市の街並みが一望でき、
心地よい南風「凱風」に鳴る葉音と、
遠くわずかに車の音が聞こえるのみ。
時を忘れ、はらかな眺めを満喫した。

「今月のうた」は、芸術創造センターを利用する
団体の皆様に月替わりでご協力いただいております。

ヤマザキ マザック美術館
THE YAMAZAKI MAZAK MUSEUM OF ART

トキメキ通信持参で
入館料100円引（5名まで）
（他割引と併用不可）

